

遊びの本質を追究

Think Innovation

～もっとワクワクするものを、もっと世の中を盛り上げるものを～



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2016年8月期第2四半期の業績

2016年8月期第2四半期の連結業績は、売上高が41億97百万円（前年同四半期比16.1%減）、営業利益が1億百万円（同56.7%減）、経常利益が1億40百万円（同48.0%減）となりました。

これは主に、前連結会計年度における子会社の売却等を含む事業再編の影響や、一次会産業である「居酒屋」から流れてくる二次会利用としてのカラオケの利用頻度が減少傾向にある点、さらには運営事業者間の競争環境激化等の影響により、売上高および各段階利益が減少となったことなどによるものです。

セグメント別の状況

◆カラオケルーム運営事業

カラオケを取巻く市況およびカラオケ運営事業者間の競争はますます激化しており、当社の強みを活かした事業展開による利益を重視した戦略が必須の状況となっております。当社は、全店舗の顧客層を商圈特性ごとに徹底的に分析し、その特性に応じた個別のサービスの提供や販売戦略の徹底を進め、既存店舗の収益力アップを重視した運営を行っております。

◆CP事業

「カラオケの鉄人モバイル」サイトを中心に運営を行っております。スマートフォンへの乗換えも進み、売上高および利益は減少傾向となっております。

◆その他

前連結会計年度までカラオケルーム運営事業に含めておりましたが不動産賃貸事業は、カラオケ本来の事業ではなく重要性が乏しいため、「その他」に記載する方法に変更いたしました。こちらは賃料収入により安定的な収益を確保しております。

グアムに本店を置くTETSUJIN USA Inc.は、グアム・タモン地区においてエンターテインメントレストラン1店舗を運営しております。メニュー改善の一環として導入したバーベキュープランが好評を得ており、今後旅行代理店各社のオプションプランとの連携強化を進めることで、収益確保に努めてまいります。

まんが喫茶（複合カフェ）運営事業の売上高は減少となりました。

配当について

当社は、連結配当性向20%を目処として、業績や財務状況等を勘案しながら継続的に配当を行いたいと考えております。

第2四半期決算につきましては大変厳しい結果となっておりますが、通期での業績を達成させるべく鋭意努力しております。中間配当につきましては期初にご案内のとおり、1株当たり5円をお支払いすることをご報告申し上げます。

株主の皆様へ

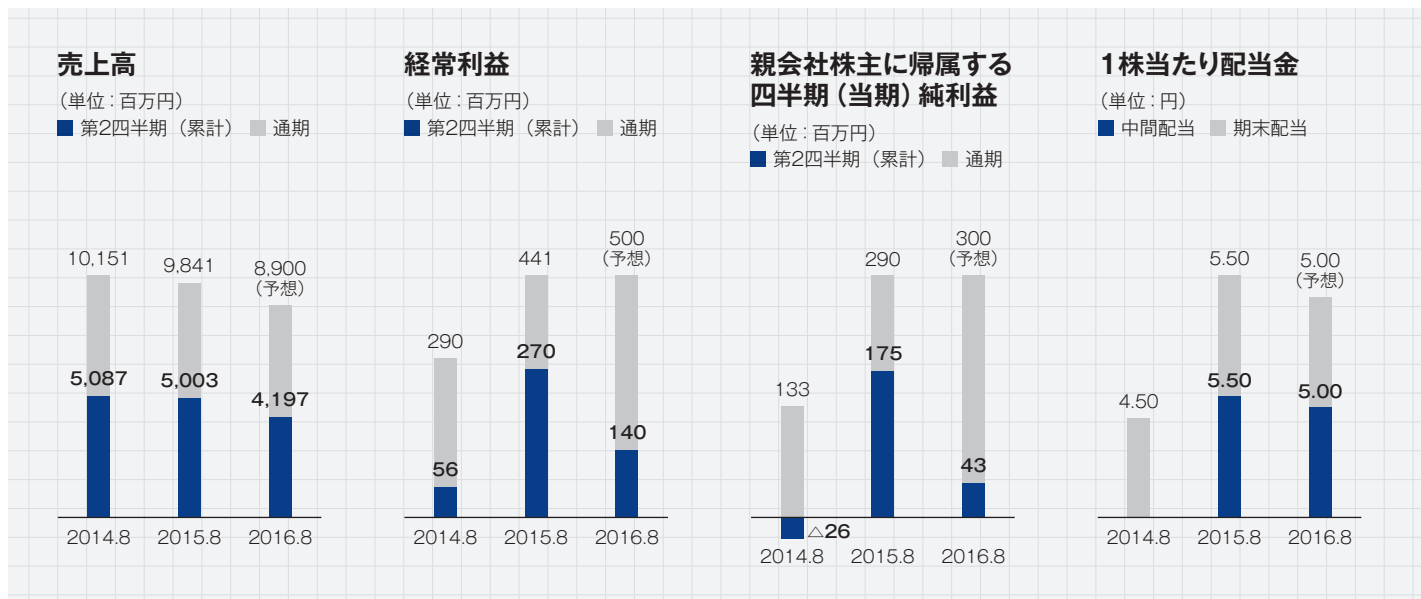
当社グループは、企業理念である「遊びの本質を追究 Think Innovation ～もっとワクワクするものを、もっと世の中を盛り上げるものを～」のもと、第二創業期における経営改革も第2フェーズにうつり、次の大きな飛躍に向けての準備が整いつつあり、約3年間見送っていた新規出店も、下期に計画しております。また、「本当に求められているのは何なのか」を考えに考え、「常識に縛られるのはやめて、かつてないエンターテインメントを、わたしたちの手で」つくり出すべく、新サービスの準備も進めております。

株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2016年4月

代表取締役社長 堀 健一郎

当第2四半期決算ハイライト



売上と各段階利益の状況

市場競争環境の激化に伴うカラオケルーム運営事業の売上減少、及びそれに伴う売上総利益減少。営業利益は減少となったものの、営業利益率については競合各社が大きく低下傾向に見られる中、高利益率を維持。

有利子負債の削減と投資資金の確保

返済スケジュールに沿って、借入金、社債を29億円返済するとともに、メインバンクである三井住友銀行を中心とするシンジケート・ローン契約により24億円を調達。長期の安定した資金を確保しつつ、有利子負債を5.9億円削減。その結果、自己資本比率24.6%、D/Eレシオ2.5倍。

キャッシュ・フローの概要

- ① 主に営業損益から発生するキャッシュイン+2.8億円
- ② 過去最高益となった2015年8月期利益を元にした法人税の支払い等△2.7億円
- ③ 店舗の補修等△1.0億円
- ④ 有利子負債の削減△5.9億円
- ⑤ 配当金・金利の支払い、その他△0.8億円

通期の業績見通し

一般社団法人日本フードサービス協会の平成27年外食産業市場動向調査によりますと、「居酒屋」分野では、売上高、店舗数、客数、客単価ともに前年を下回り、一次会産業における大変厳しい環境が下げ止まらず、その結果、二次会産業を主力とするカラオケの利用頻度にも影響が出るという状況が続いております。当社グループといたしましては、より商圏特性を意識した、上述外部環境に負けない新業態店舗の開発に着手するとともに、既存店舗の徹底的なコスト削減により収益改善を図ってまいります。また、下期におきましては新戦略に基づいた新規出店を計画しております。

通期の業績見通しにつきましては据え置きとさせていただきます。引き続き、コア事業であるカラオケルーム運営事業の収益改善に注力してまいります。

通期の業績見通し

(単位:百万円)

	前期	通期業績予想	増減率 (%)
売上高	9,841	8,900	△9.6
営業利益	422	440	4.2
経常利益	441	500	13.1
親会社株主に帰属する当期純利益	290	300	3.3

Overview of Our Strategies for Future Growth

次なる経営ステージへ向けて、
大胆な構造改革を継続中



2016年8月期の経営方針

ここ数年カラオケ市場の成長が停滞する一方で、成長を求め、海外展開や新規出店を重ねる売上拡大路線を踏襲し2008年8月期に営業利益、経常利益のピークは遂げたものの、以降は収益性が停滞、2013年8月期には収益バランスが大きく崩れることとなりました。同時に、積極投資による有利子負債の増加も伴い、財務状況の悪化を招いたため、次の成長ステージに向かうべく「筋肉質な経営体制」の構築が求められ、財務、組織の構造改革を引続き継続しております。

財務体質の改善／強化

資産効率の向上	ROE、ROA の改善
有利子負債の削減	自己資本比率および安全性の向上
投資資金の確保	連結配当性向 20% を目処とし、新規事業投資、財務体質強化に有効活用
営業キャッシュ・フローの増加	営業 CF より新規事業投資を創出し、財務活動 CF を改善
営業利益率の向上	安定した収益基盤の確立

人材・組織の強化

店舗	店舗個別の人員スキル、経験の共有化、平等化
本社	基幹システムの入替えによる業務効率改善
経営層	外部プロフェッショナルの積極登用、トップマネジメントによるスピード改革推進、ボトムアップによる顧客ニーズ吸い上げ

2016年8月期の取り組み

財務体質の改善／強化

2015年8月期より「足元固めの時期」と位置付け推進してきた財務基盤におきましては、事業運営の効率性を図るべく経営資産を見直し、さらには三井住友銀行をメインバンク、りそな銀行を準メインバンクとする財務バックアップ体制が

確立できたことを背景に着実に改善してきております。今後はさらなる高みを目指した成長軌道を実現するため経営資源の集中に加えて営業キャッシュ・フローの増加を図り、収益性の改善強化に努めてまいります。

人材・組織の強化

収益の基盤となるカラオケルーム運営事業におきましては、ここ数年カラオケ市場の成長が停滞する中で、単なる新規出店による収益積み上げではなく、既存店舗の足元の収益基盤を見直すことに注力してまいりました。既存店舗における資産効率向上、立て直しが急務であり、商圏ごとに精緻な

店舗・顧客対応状況の把握・分析を一層進めることにより、画一的なサービスからの脱却を目指してまいります。そのためには人事制度改革にも着手することにより店舗個別の人員のスキルの向上・ナレッジの共有化を図り、組織の強化に努めてまいります。

株式会社T・Rプロジェクト設立

映像と音楽を活用した新しい音楽体験サービスの提供に向け、協議進行中！

株式会社レコチョク（本社：東京都港区、代表取締役社長：加藤裕一）と当社の共同出資の企画会社を2015年12月11日に設立いたしました。現在、映像と音楽を活用した新しい音楽体験サービスに関する協議を実施中です。

新サービスの提供を目的とした事業会社を設立し、来年度のサービス開始を目指しております。今後の展開に、どうぞご期待ください。



映像と音楽を活用した新しい音楽体験サービスへ

渋谷区コミュニティFM「渋谷のラジオ」とパートナーシップ契約

2016年4月に本放送を開始した「渋谷のラジオ」。スペシャルファウンダーやパーソナリティーとして豪華アーティストや文化人が名を連ねる中、渋谷に店舗を持つエンターテインメント企業である当社も、サポーター協賛をしております。4月24日には共同制作番組「渋谷カラオケ部」の第1回放送をいたしました。毎回著名人からインディーズまで、ジャンルも世代も様々なアーティストが登場し、カラオケの鉄人店舗をスタジオにトークやライブパフォーマンスを繰り広げます。カラオケの鉄人と“渋谷ラジ”のコラボレーションを是非お楽しみください。

2016年4月1日(金)本放送開始



<https://shiburadi.com/>

Company Profile (2016年2月29日現在)

会社概要

社名 株式会社 鉄人化計画 (TETSUJIN Inc.)
 設立 1999年12月14日
 本社所在地 〒153-0043
 東京都目黒区東山三丁目8番1号 東急池尻大橋ビル2階
 資本金 743,509,892円
 事業概要 カラオケルーム「カラオケの鉄人」をはじめとした空間提供型アミューズメント施設の運営
 従業員数 132名(連結)

役員構成

代表取締役社長 堀 健一郎
 取締役 松本 康一郎
 社外取締役 見城 徹
 社外取締役 山田 善則
 社外監査役(常勤) 緑河 久彰
 社外監査役 尾堂 孝一
 社外監査役 江崎 修二郎

グループ会社

○ TETSUJIN USA Inc.
 本社 アメリカ合衆国(グアム)
 事業内容 エンターテインメントレストラン運営

株式等の状況

発行可能株式総数…………… 23,712,000株
 発行済株式総数…………… 6,687,200株
 株主数…………… 5,748名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
ファースト・バシフィック・キャピタル(有)	2,432,500	36.37
(株)鉄人化計画	476,600	7.12
(株)横浜銀行	240,000	3.58
日野 洋一	200,100	2.99
(株)ドワンゴ	200,000	2.99
吉田 嘉明	185,200	2.76
佐藤 幹雄	162,600	2.43
(株)エクシング	120,000	1.79
(株)SBI証券	103,700	1.55
(株)グッドスマイルカンパニー	80,000	1.19

株式の所有者別分布状況

■ 個人、その他
 2,857,829株 42.74%
 ■ 事業法人、その他法人
 2,937,101株 43.92%
 ■ 金融機関
 243,300株 3.64%
 ■ 外国人等
 35,600株 0.53%
 ■ 金融商品取引業者
 136,770株 2.05%
 ■ 自己名義株式
 476,600株 7.12%

